



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.50
ハチ類の基礎知識/大谷 剛
2007年5月発行

第50回テーマ： ハチ類の基礎知識



セイヨウミツバチ

講演内容

- ①昆虫の中のハチ目
- ②毒針は産卵管だった
- ③ハチはなぜ刺すのか

実施日：平成19年5月19日（土）

午後1時～3時45分

場 所：六甲山自然保護センター

レクチャールーム



講師：大谷 剛 さん
プロフィール

1947年福島県生まれ。東京農業大学農学部卒、北海道大学大学院理学研究科動物学専攻 単位取得退学。理学博士。人と自然の博物館主任研究員。

市民セミナーもついに50回

午前中には平成19年度の総会を行いました。当会の活動も7期目となり、六甲山魅力再発見市民セミナーを柱として、六甲山環境整備協議会など、さらに本格的な活動を展開していきたいと思えます。

午後からの市民セミナーは、記念すべき50回目。六甲山上で初めてハチをテーマに取りあげたセミナーで、39名が参加されました。六甲山でもハチに刺される時期を控えて、質疑応答も活発で、関心の高さがうかがえました。



総会参加者で記念撮影

ハチの生態を趣向をこらしたスライドで紹介

市民セミナーでは兵庫県立人と自然の博物館でハチ類を研究されている大谷さんにお話をいただきました。

大谷さんには趣向を凝らしたスライドを数多くご用意いただきました。専門的なお話の中に、淡路花博のキャラクター「ユメハッチ」を例にした解説や、マンガを使った解説などを交えて、親しみやすく、分かりやすくお話をいただきました。

主催：六甲山自然保護センターを活用する会

協力：兵庫県立人と自然の博物館

後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

ハチは平和な昆虫

大谷さんから、ハチに擬態する昆虫のお話や、産卵管として使用されていた針が、毒針に進化していく過程をお話いただきました。どういうときにハチが刺すのか、また刺されないようにする方法も解説いただきました。大谷さんは、平和な昆虫であるハチを過剰に恐れるべきではないと、強調されました。

正しい知識を持ってハチと共存したい

ハチ、特にスズメバチなどは、怖い毒針を持っていて攻撃的なイメージがあります。しかしハチは、巣を守るためにしか刺さないそうです。ハチの毒に過剰反応するのも、全員がなるわけではないということでした。

正しくハチの生態を知って、上手にハチと共存できるようにしたいと思います。

※詳しくは、1. 2ページをお読みください。

参加の感想 戸賀里 守 さん

今回、はじめての参加です。名古屋からの参加で、六甲山も初めてです。海岸から山までの、あまりの近さにびっくりです。会場からの港を眺める風景もすばらしく、都会のすぐそばに自然があることも驚きです。今回のセミナー参加で、六甲山の持っている魅力の一端に触れることができました。多くの人にもこの魅力を知ってほしいと思います。



【助成金をいただいている機関】

コベルコ環境保全基金、セブン-イレブンみどりの基金
ひょうご環境保全創造活動、コープこうべ環境基金